

良いチームでした！



コロナ禍で2年間実施できなかった文化祭が無事に終わりました。感染予防のため飲食ができないなどの制限が多く、皆さんには様々工夫をしてもらいました。改めて、ありがとうございます。特に、在校生は誰も荒工文化祭を経験したことがない中、一生懸命に準備してきた生徒会、文化祭実行委員などのクラス代表の皆さん「Good Job」でした。

開催式の際に「一生懸命に仲間が準備してきたことを支えてほしい」という話をしました。出し物の協力をする事とともに、しっかり「見る」ことによる支えの大切さをお話ししました。私も校内を回りながら皆さんの楽しむ姿に「支える」力を感じました。あら工はやはり「良いチーム」です。一生懸命準備してきたことを表現する仲間、その表現をしっかりと受け止める仲間。3年生らしく、2年生らしく、1年生らしく頼もしく感じました。



その中で、全日制では、2年D組の「バキバキ Darts です」は、得点をスクラッチで表示するなど、情報技術科で学んだ力を表現していました。よくここまで西館先生引き上げてくれました。また、模型部の「鉄道模型の世界」は、長く使われていなか



った鉄道模型をものづくの力で丁寧にメンテナンスし復活。三枝先生、ものづくりの表現の場をありがとうございます。定時制でも、学年ごとの「イライラ棒展示」、荒川区大好きな村橋先生と中込先生が、より良いモノづくりを追求し生徒指導。



生徒の皆さんは「鏡」なんですね！一生懸命な先生の姿が映っています！

ぶらり、あらこう散歩

【全日】本当に釣れるのか？曇り寒さを感じる中、黙々と釣り糸を垂らす。ドジョウ、クチボソ、エビ、どの魚も強敵で垂らした餌に見向きもしてくれない。「釣れないのでは」と不安に感じた瞬間、「釣れた！」。生徒に先を越され「悔しい」。その後は続々と釣り上げる生徒の傍ら釣果なし。それでも、「楽しい」。暗くなりかけた雰囲気も「大丈夫！大丈夫！」と励まし続けた小林先生！ナイス！

【定時】全ての展示物に「電気系」のものづくりの力がちりばめられていました。先生方の「ものづくり」への思いが込められていましたね。見ていて「ものづくりって楽しいじゃん」って思いました。それにしても、動線を張り巡らせたイライラ棒の成功者はいたのだろうか？

「未来を創る！彩る！荒川工業」

